



### 今後の選挙における 投票率向上の対策について

権田 昌弘 議員

**質問** 直近の選挙の低投票率の原因は何であったか。

**答** 一般的な投票率低下の原因として、若年層の投票率が低いことが挙げられます。

**質問** これまでに行ってきた投票率向上への対策は。

**答** 小・中学校には、選挙副読本の配布などを行

い、高校生には、啓発冊子の配布、選挙機材の貸出し、模擬投票を行う出前授業を



行ったほか、広報紙選挙特集号の毎戸配布、広報車に



### 教育行政と日本遺産について問う

斉藤 貢一 議員

**質問** 教育行政方針に記載されている「開かれた教育委員会」とは、どのようなイメージなのか、伺います。

**答** 「開かれた教育委員会」のイメージとしては、公開の場での議論と、民意の反映と考えています。

**質問** 教育委員会制度には様々な課題がある中で、平

成27年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が施行されましたが、教育行政方針の中では、平成22年度からの課題として、「開かれた教育委員会」を継続してあげています。また、教育委員の選任に関しては、「レイマンコントロール」

よる投票の呼びかけ、公用車へのボディパネル設置、のぼり旗や横断幕の掲示、街頭啓発等を行っています。

**質問** 共通投票所を設置し、投票所を集約するなど、今後見直す考えはあるのか。

**答** 全国的にも導入事例が少なく、効果の測定が困難であるため、検証を続けるなど、今後しばらくは現状の体制を考えています。

**質問** 期日前投票所を商業施設や駅前等に設置しては。

**答** 設置・運用費用、人が機能しているのか疑問であり、民意の反映という点からも、教育委員の一部公募制を採用すべきと思いますが、考えを伺います。

**答** 教育委員は、人格が高潔で様々な分野の識見を有する方を年齢・性別・職業等に偏りがないよう選出しており、レイマンコントロールは機能しているものと認識しています。教育委員の公募制に関しては、斬

新な意見による会議の活性化のメリットもある一方で、

件費も増加し、既存の期日前投票所との位置関係も勘案する必要があるので、慎重に研究したいと考えます。

**質問** 期日前投票所などの立会人や、その他の作業に對して、若い人の団体や組織、企業の社員のほか、大

学との連携により、学生に協力してもらうような取組を行う考えはあるのか。

**答** これまでも二十歳のついで実行委員の方々にご協力をいただいているほか、県内では、大学生を中心と

政治や思想、職業等のバランスに配慮しにくい面もあり、意見に偏りが生じる可能性が危惧されています。今後、公募制については慎重に検討していきたいと考えています。

**質問** つつじが岡パークウイ

ンの活用方法について、売却する方針とのことでしたが、「里沼、又マベーション」に基づく日本遺産の認定を受けて、考え方を変えることはないのか、伺います。  
**市長** 足利市にある「ココ

した選挙啓発グループが活動されており、今後は、こうした団体とも情報交換をしながら連携を図れるよう研究したいと考えています。  
**質問** 若い人に関心を持つてもらうには、小学生、中学生からの長いスパンでの取組が必要ではないか。  
**答** 日常の授業と体験的な活動の充実を両輪として、各学校の実態や子どもたちの発達段階に応じた政治に関する学習の充実に努めたいと考えています。  
ファーム・ワイナリー」をイメージして検討を行いました。室数が少ないためホテル経営は採算が取れないという調査報告を受けています。アウトドア、スポーツ合宿、企業団体研修等に特化した宿泊施設というアイデアもありますが、日本遺産の構成資産である城沼と絡め、議会を初め、区長会など幅広い世代の皆様になが々な選択肢を提示しながら、改めて丁寧に取り組んでいきたいと考えています。